

事業所名

すまいる東浦

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

7月

20日

法人（事業所）理念		発達に特徴のある子供たちが抱えている生活のしづらさや集団へのなじみにくさ、学習のしづらさ等に対し、どこにつまづいているのか？何に困っているのか？を一緒に考えながら抱えている問題を軽減できるように集団の力を借りながら一人一人の児童に合った支援を行います					
支援方針		児童1人1人に向き合い、じっくりと児童の特徴や個性を捉え、児童にあった支援をおこなう					
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時の準備（まずやる事）を先に行うように声掛けや誘導を行う ・宿題（勉強）の習慣をつけるため来所後はまず机に座り宿題を行う ・課題の最初には全員集まり姿勢を正し始め、終わりには振り返りを行い、最初と最後を明確にしている ・37.5度以上の発熱の際には保護者に連絡し対応する 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年までは感覚統合、高学年以上は運動を取り入れている ・まず土台となる固有感覚・前庭覚・触覚を用いた活動を多くとり入れている 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びの中で見られた問題や家庭や学校での困りごとを題材にSSTを行う ・援助要求を出せるように視覚支援を行っています。 ・見通しを立てられるように文字・絵カードの視覚支援や音声での支援を行っています 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・話しかけ方、言い方を活動を通して練習しています。また他児とのかかわり方をご学習している児童に対しては受け入れられやすい関わり方の練習を行っています ・語彙の数を増やすように学習支援も行っています 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を通して遊びのルール、他児と関わるための暗黙のルール、気持ちの表出の仕方等の練習を行っています。 ・自由遊びの中で児童のかかわり方や過ごし方を観察し課題に取り入れるようにしています 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1度面談を実施し、困りごとや今後について話し合える機会を設けています。 ・困りごとに対しその都度対応させていただいています 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて支援会議や書面での情報提供・情報の共有を行います 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議に参加し関係機関での情報の共有を行っています 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日情報の共有を行い全職員が児童に対し同様の支援が出来るように努めています ・勉強会や症例報告を行い児童に対しての意識を高めています 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた活動（玉葱植えや玉葱引き、田植えや稲刈り、お正月遊びなど） ・自然学校の事前学習 ・バス旅行 					